

県内の企業が狙われる ビジネスメール詐欺が発生!!

県内で企業や団体等の代表者を装ってメールを送信し、SNS上に組織のグループの作成を指示した後、グループ内のメッセージで指定口座への送金を指示してだまし取る詐欺（いわゆるビジネスメール詐欺）が発生しています。



被害に遭うまでの流れ(例)

- ① 会社のメールアドレスに代表者（社長）からメールがあり、**SNSのグループ**を作って他の人は招待しないと言われる
- ② SNSのグループを作成した後、代表者を招待し、以降は**グループ内でメッセージ**のやりとりをする
- ③ **経理担当**をグループに招待すると言われる
- ④ 自身の会社への**入金予定**があるため、**口座情報・残高**をグループで共有すると言われる
- ⑤ **送金が必要な取引がある**と言われ、振込先口座を伝えられる
- ⑥ 指定口座に現金を振り込んでだまし取られる

被害防止ポイント

- 企業等で**送金に関するルールを確認**しておく
- **メール、SNS以外の方法**で組織や代表者に確認する
- 特に**送金先の変更**や**緊急の送金**は詐欺を疑う
- LINEグループ等の**SNSの利用を指示**されたら詐欺を疑う



企業の代表メールアドレスではなく、公表していないアドレスにも詐欺のメールが来る場合もあります。また、自身が勤務する企業等の代表者だけでなく、取引先からのメールを装う詐欺もありますので、被害に遭わないようにしましょう。



＜被害に遭うまでの流れの解説＞

被害の流れの中で犯人が意図していると思われることを解説します。

被害に遭うまでの流れ(例)

- ① 会社のメールアドレスに代表者（社長）からメールがあり、SNSのグループを作って他の人は招待しないと言われる
会社の共有のアドレスの場合、他の人が見て詐欺であることが看破されてしまうおそれがあるため、SNSに誘導します
SNSに他の人を招待しないのも同様の理由です
- ② SNSのグループを作成した後、代表者を招待し、以降はグループ内でメッセージのやりとりをする
①と同様にSNSのグループ内だけでやりとりをして他の人に知られないようにします
- ③ 経理担当をグループに招待するよう言われる
送金でだまし取る準備のために送金できる権限のある企業等の経理担当をグループに招待します
- ④ 自身の会社への入金予定があるため、口座情報・残高をグループで共有するよう言われる
他の会社との正規な取引があることを臭わせて送金に疑問を持たれないようにします
また、会社の資産状況を確認し、どのくらいの金額であればだまし取れるかを決定します
- ⑤ 送金が必要な取引があると言われ、振込先口座を伝えられる
入金があることを見越しているため、送金へのハードルが下がっており、先に送金が必要な取引であると言ってだまし取ります
- ⑥ 指定口座に現金を振り込んでだまし取られる
指定口座は、犯人が用意した口座であるため、だまし取られてしまいます